

でんでんくん



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん

No.5 令和2年11月6日

発行：きこえとことば支援センター
(秋田県立聴覚支援学校内)

冬の補聴器・人工内耳管理

冬の訪れが近づき、日ごとに寒さを感じる頃となりました。夏の汗対策と同様、この時期の管理にも注意が必要です。寒いところから暖かい屋内に入ったときなど、気温差による結露が生じることがあります。結露が原因となり補聴器や人工内耳の聞こえが悪くなり、そのままにしておくと故障する場合があります。また、熱に弱いので暖房機器の近くに置いたり、乾燥させるためにドライヤーの熱風で乾かしたりすることも故障の原因になります。

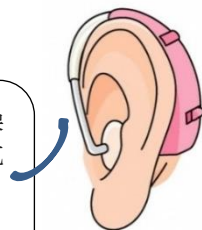
⇒ 結露の危険があるときは、乾燥ケースに入れて室温に戻します。

結露により補聴器のチューブの中に水滴が付くことがあります。



シールをはがした空気電池は大変乾燥に弱いため、補聴器と一緒に乾燥ケースに保管すると、電池寿命が短くなります。補聴器から取り外し、乾燥ケースに入れなくて保管しましょう。また、冬場は空気が乾燥することも多いです。

こまめに部屋の換気をするのも電池のもちをよくするコツです。



人工内耳の基本的な管理は補聴器とほぼ同様です。ただし、装用者が静電気のある物体に触れるのは大丈夫ですが、近くにいる人が、サウンドプロセッサに触れて静電気が放電すると、マップに影響することがありますので、気をつけましょう。

南の交流会を終えて

10月29日(木)に、大仙市大曲交流センターで第4回南の交流会を行いました。県南地区の難聴学級に在籍している小学生7人が集まり、親子対抗風船リレーやチーム対抗〇×クイズレースをして交流しました。短い時間でしたが、〇×クイズでは自分に関する問題を出し、お互いのことを知りながら関わり合う良い機会となりました。久しぶりに会う友達にサプライズのプレゼントを渡すほのぼのとした場面もありました。また、保護者会では近況を伝え合う時間もあり、情報交換で盛り上がりました。



このあと、県央地区の交流会と県北地区の交流会も予定しています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、定期教育相談利用のお子さんを中心に案内を送付しましたので、ご了承ください。交流会は、同じ聞こえにくい友達との出会い、保護者同士のつながりをつくる大事な機会なので、次年度は、幅広く呼び掛けることができると考えています。

新型コロナウイルス感染防止のため、補聴相談会は今年度、中止とさせていただきます。補聴器や人工内耳について心配なことがありましたら、本校でもよいですし、病院や業者の方へご連絡いただければと思います。

本校高等部産業技術科の取組

被服コースの生徒に依頼し、サテライト教室用の飛沫防止アクリルパネルを運搬するためのトートバッグを制作してもらいました。ポケットのマークは本校のキャラクター「でんでんくん」と世界共通手話の「I LOVE YOU」を組み合わせた本校生徒のオリジナルデザインです。新型コロナウイルス感染防止のための持ち運びに大変役立っています。



【注文を受けた感想】

注文を受けたときは自分でできるか不安だった。
製作しているときは緊張したが、パネルがしっかり
入るバッグが完成したときはとてもうれしかった。
人の役に立つというのはこんな気持ちなんだと実感
した。とてもいい経験だった。

被服コース2年（H中学校難聴学級出身）



秋田県立聴覚支援学校



おらせ

～ 本校で行っている諸検査について ～

子どもの実態把握には、行動の観察やそこから分析する主観的な評価とともに、行動の背景にある特性を検査等で客観的に評価することも大切です。更に生育歴や相談歴等も含めた様々な情報を合わせて実態や課題を明確にし、必要な支援につなげていければと思います。

検査というと、まずWISC-IVが思い浮かぶかと思います。主に「言語理解」「視覚的情報の認知・思考力」「聴覚的な短期記憶」「処理速度」等の面での力を評価することができます。

本校では、WISC-IVの検査とともに子どもたちの実態や目的に合わせて以下の検査等を実施しています。

- ・ 語いの理解 : 「改訂版絵画語い発達検査」、「標準抽象語理解力検査」
- ・ 日本語の構文力 : 「失語症構文検査」、「日本語理解力テスト」
- ・ 言語性コミュニケーション力 : 「質問-応答関係検査」
- ・ 読み書きの力 : 「標準 読み書きスクリーニング検査」
- ・ 視覚的な短期記憶 : 「ベントン視覚記銘検査」
- ・ 視知覚技能 : 「フロスティック視知覚発達検査」等々

様々な検査を行い、関連づけて分析することで、子どもの得意な面、苦手な面をより詳しく探ることができると
思います。検査の後は、結果を在籍校に報告し、情報を共有しながら必要な支援や指導についての話し合
いも行っています。

検査について詳しくお聞きになりたい場合は、ご連絡ください。検査担当が対応いたします。

おらせ

～ 先輩と語る会～

日 時 : 令和2年12月11日(金) 午後1時30分～午後3時20分

場 所 : 秋田県立聴覚支援学校 会議室西・東

講 師 : 赤坂 弥風 氏 (株式会社コーセー) [平成29年度 高等部専攻科情報デザイン科修了]

講 話 : 「働くために大切なこと (仮題)」

学校生活で心がけるべきことや自身の取組、就職先を決めるまでの経緯や働き始めてから気付いた
ことなどについて、お話をさせていただく予定です。

※中学生の交流会も兼ねていますが、「先輩と語る会」の終了と同時に解散となります。



きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）【直通携帯電話】090-8784-6302
〒010-1409 秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

【聴覚支援学校】TEL : 018-889-8572 FAX : 018-889-8575

E-mail : chokaku-s_shien@akita-pref.ed.jp